

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)案

平成 29 年 1 月 12 日

協議会名: 本別町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
本別町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽の丘循環バス南回り(町国保病院～南地区～本別道の駅～町国保病院)</li> <li>・太陽の丘循環バス北回り(町国保病院～北地区～本別道の駅～町国保病院)</li> <li>・太陽の丘循環バス直行便(町国保病院～活性化センター～本別道の駅)</li> <li>・太陽の丘循環バス近道便南北回り(町国保病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)南北地区～町国保病院)</li> <li>・太陽の丘循環バス近道便南回り(町国保病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)南地区～町国保病院)</li> <li>・太陽の丘循環バス近道便北回り(町国保病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)北地区～町国保病院)</li> <li>・太陽の丘循環バス南大回り(町国保病院～南地区～本別道の駅～北地区～町国保病院)</li> <li>・太陽の丘循環バス北大回り(町国保病院～北地区～本別道の駅～南地区～町国保病院)</li> </ul>	<p>バス利用者や国保病院への通院患者などへの聞き取りやアンケートなどによるニーズ把握から、国保病院や中心市街地からの帰宅利用のニーズに対応すべく運行形態の見直しを行った。</p> <p>また、バスのラッピングデザインについて、町民意見も取り入れ、利用者が便の判別をしやすいデザインを施し、利用性の向上を図った。</p> <p>新規利用者の開拓に向けた取り組みとして、地域生涯学習イベントでの周知活動を行った。</p> <p><b>【説明】</b> 昨年度の事業評価において、運行形態の見直しと新規利用者の開拓に向けた取り組みが必要としておりました。運行形態についてはH27.6.25公共交通会議においてご承認いただいたとおり、運行経路の変更(バス停新設含む)を、H27.10から実施いたしました。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p> <p><b>【説明】</b> H28生活交通ネットワーク計画に基づく事業が適切に実施されたかを3段階で評価します。</p> <p>H27.12.3に前日未明からの降雨による路面凍結のため、午前の5便が運休、H28.1.19に前日未明からの降雪による積雪のため、午前の2便が運休となりましたが、その他は計画どおり運行できたことから、「A」評価としております。</p> <p><b>【参考(3段階評価)】</b> A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。</p>	<p>B 人口減と町国保病院受診者数の減の影響等により、利用者数は年間目標17,738人に対し、14,537人であった。 (1便当たり利用者 4.27人【前年度比-0.73人】)</p> <p><b>【説明】</b> H28生活交通ネットワーク計画に位置づけられた定量的な目標・効果が達成されたかを、3段階で評価します。</p> <p>記載のとおり、利用者数の減少となり、数値目標の達成ができなかったため、「B」評価としております。</p> <p><b>【参考(3段階評価)】</b> A: 事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 B: 事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった。 C: 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。</p>	<p>H27.10に運行形態見直しを行っているが、利用者の減となっているため、今後も検証を行ない、町民ニーズに即した運行形態を検討する。</p> <p>また引き続き、新規利用者の開拓のため、地域内における多様な連携により、更なる定着と利用者増に向けた取り組みを検討する。</p> <p><b>【説明】</b> 引き続き、H27.10以降の新しい運行形態の検証と新規利用者の開拓を課題として捉えております。 今後も利用者ニーズの把握に努め、認知度を高める取り組みやバス利用促進の啓発に取り組んで参りたいと考えています。</p>